

61. Pecs ブロックについて

From MY point of view

- Pecs II ブロックにより、術後 24 時間以内のオピオイド使用量は減り、NRS は軽減する
- Pecs II ブロックでは乳房外側領域の鎮痛は得られるので乳房切除術の腋窩郭清などに有効
- Pecs II ブロックに TTP ブロックを併用すると、内側領域の鎮痛もカバーできるという報告あり
- エコーガイド下で行うので合併症は少なく、比較的容易に行える

出典 1) Anaesthesia, 2011, 66, pages 847-848. 2) Rev Esp Anesthesiol Reanim. (2012) 59; 470-5.
3) Eur J Anaesthesiol 2018; 35:215-223 4) 日臨麻会誌 Vol.38No.1,110-113,2018
5) Pain Res Manag. 2018 May 15;2018:4315931. 6) Ann Surg Treat Res. 2017 Sep;93(3):166-169.

- Pecs ブロックは 2011 年に報告された比較的新しい胸壁の末梢神経ブロックである。¹⁾
- Pecs I ブロックは第 3 肋骨レベルの大胸筋と小胸筋の筋間をターゲットとする。内側胸筋神経と外側胸筋神経が遮断される。乳房再建術での tissue expander 挿入による疼痛などに有効。¹⁾
- Pecs II ブロックは Pecs I ブロックに加えて第 4 肋骨レベルの小胸筋と前鋸筋の筋間をターゲットとする。腋窩郭清やセンチネルリンパ節郭清などによる疼痛に有効。²⁾
- 必要な局所麻酔薬は Pecs I では 0.25%レボブピバカイン 30ml、Pecs II では大胸筋と小胸筋の間に 0.25%レボブピバカイン 10ml を小胸筋と前鋸筋の間に 0.25%レボブピバカイン 20ml である。¹⁾²⁾
- 乳房の神経支配は、第 2~6 肋間神経の前皮枝と外側皮枝による。
- Pecs II ブロックは乳癌の外側領域(特に C 領域)に対する鎮痛効果は高いが、内側領域の鎮痛は得られないので、内側領域をブロックする TTP ブロック(transversus thoracic muscle plane block)を併用すると良さそうである³⁾
- TTP ブロックとは肋間筋を貫いて胸横筋筋面に局所麻酔薬を注入するブロックである。³⁾
- Pecs II ブロックでは術後 24 時間以内のオピオイド使用量を低下させ、鎮痛を得られる。術中のレミフェンタニルの必要量は変わらなかった。術後の NSAIDs,アセトアミノフェン,ペンタゾシンのレスキュードーズの使用量は減らなかった。QoR-40 score では改善はみられなかった。³⁾⁵⁾
- 合併症は少ないが、大胸筋と小胸筋の間には胸肩峰動脈が走っており注意が必要である。⁶⁾
- 全身麻酔を行わずに鎮静下に Pecs ブロックを用いて乳房温存切除術を施行した例もある。⁶⁾

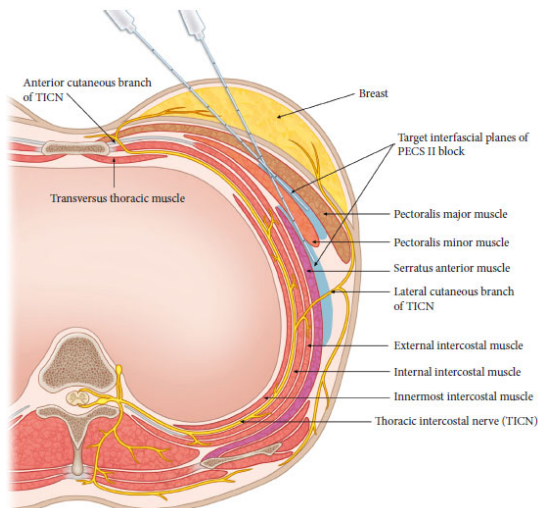


図 1 Pecs II ブロックの模式図 出典 5 より引用

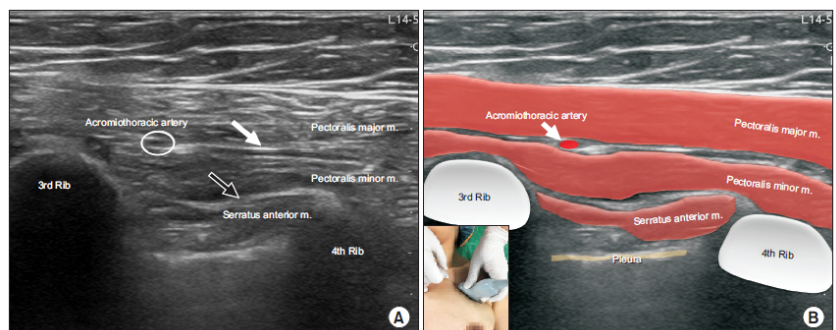


図 2 Pecs II ブロックのエコー画像 出典 5 より引用